

令和9年度 福岡支部 事業計画・ 支部戦略予算の策定について



令和8年10月23日
全国健康保険協会福岡支部

1. 支部戦略予算の策定について

これまでの「支部保険者機能強化予算」は、支部戦略（主に健康づくり戦略）の実現を図るため、「支部戦略予算」に名称を変更し、地域の実情に応じた取組を意欲的に実施できるよう内容を見直します。

1. これまでの「医療費適正化等予算」と「保健事業予算」の垣根をなくし統合します。

2. 以下の2つに区分します。なお、特別枠は廃止します。

支部**重点**課題解決事業…支部の裁量で実施する支部独自の課題解決に向けた事業（広報を含む）を実施する場合の予算。少なくとも1事業ずつ医療費適正化事業、保健事業を計画のうえ予算要求する取扱いとします。

共通課題対応等事業…すべて（又は大部分）の支部が毎年実施する事業の予算（本部方針等により全支部が共通して実施する事業等）

3. その上で、現行の支部保険者機能強化予算を各事業の性質に応じて「支部重点課題解決事業」「共通課題対応等事業」「基礎的業務関係予算」に振り分けます。

4. 各支部の重点課題解決事業にかかる基準額は、過去3年間（R6～R8）の重点課題解決事業に該当する予算の要求額や執行率等を勘案し、これまで交付していた額を大幅に下回らない範囲で設定される予定です。

↳2P赤枠

(参考) 令和8年度 支部保険者機能強化予算

< 令和8年度 支部保険者機能強化予算（区分等） > ※括弧内は同事業における前年度（令和7年度）の予算額を掲載。

予算区分		分野	支部予算枠（千円）	
			通常枠	特別枠
支部保険者機能強化予算	支部医療費適正化等予算	①医療費適正化対策経費	30,313 (30,313)	7,500 (7,500)
		②広報・意見発信経費		
	最重点広報＆特別広報予算	③最重点広報経費	8,255 (5,888)	—
		④特別広報経費	0 (5,405)	—
	支部保健事業予算	⑤健診経費	181,972 (181,972)	45,020 (45,020)
		⑥保健指導経費		
		⑦重症化予防事業経費		
		⑧コラボヘルス事業経費		
		⑨その他の経費		
		⑩拡充するオプション健診経費	6,400 (6,400)	—
合 計			226,940 (229,978)	52,520 (52,520)

※「支部医療費適正化等予算」の「①医療費適正化対策経費」と「②広報・意見発信経費」の予算配分は支部の裁量で決定できる。

支部医療費適正化等予算

分野	事業名	経費（千円）	
		通常枠	特別枠
①医療費適正化対策経費	福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市等との共同によるメンタルヘルスセミナーの開催	24 (30)	—
	医療費適正化等を目的とした事業所訪問等によるインセンティブ制度の取組勧奨業務	4,244 (7,461)	—
	バイオシミラーの使用促進に向けた医療機関向けセミナーの開催、ポスター作成	1,360 (553)	—
②広報・意見発信経費	協会けんぽ「かべ新聞コンクール」	15,400 (14,412)	—
	紙媒体による広報	5,208 (6,724)	—
	・事業所向け納入告知書同封チラシ（4,231千円） ・電子申請等案内パンフレット（472千円） ・メールマガジン勧奨チラシ（435千円） ・新規適用事業所「GUIDEBOOK」案内チラシ（69千円）		
(特別枠)		—	0 (—)
合 計		26,238 (29,180)	0 (—)

最重点広報&特別広報予算

分野	事業名	経費（千円）	
		通常枠	特別枠
③最重点広報	・令和9年度保険料率改定（4,763千円） ・健診体系の見直し（5,882千円） ・共感が広がる環境づくり（5,707千円） ・電子申請・けんぽアプリの利用促進（2,268千円）	18,620 (5,770)	—
④特別広報	—	0 (3,612)	—

支部保健事業予算

分野	事業名	経費（千円）	
		通常枠	特別枠
⑤健診経費	健診実施機関実地指導旅費	150 (200)	—
	集団健診	37,037 (33,657)	—
	事業者健診の結果データの取得	36,013 (28,386)	—
	健診受診勧奨等経費	7,938 (11,610)	—
⑥保健指導経費	中間評価時の血液検査費	0 (9,900)	—
	保健指導用パンフレット作成等経費	660 (377)	—
	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	66 (158)	—
	保健指導用図書購入費	72 (112)	—
⑦重症化予防事業経費	保健指導利用勧奨経費	1,100 (0)	—
	未治療者受診勧奨	37,230 (46,602)	—
	重症化予防対策（糖尿病性腎症）	14,850 (15,373)	—
⑧コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業（健康宣言事業）	24,849 (10,252)	—
	情報提供ツール（事業所カルテの作成）	8,225 (3,995)	—
	喫煙対策の推進	0 (13,708)	—
⑨その他の経費	—	0 (0)	—
⑩オプション健診	被扶養者の集団健診における骨粗しょう症検診・歯科検診・眼底検査	6,400 (6,400)	—
合 計		174,590 (180,730)	0 (0)

1. 支部戦略予算の策定について

<令和9年度 支部戦略予算にかかる評議会スケジュール>

■10月評議会 令和9年度 福岡支部事業計画・支部戦略予算の策定について
福岡支部の課題を踏まえた令和9年度の重点施策等に関する検討



事務局案の作成

■1月評議会 支部事業計画・支部戦略予算（案）の提示



議論を踏まえた修正

■3月評議会 支部事業計画・支部戦略予算（最終案）の提示・承認

2. 福岡支部の課題と令和9年度事業内容の検討

福岡支部の令和9年度事業計画における重点事項

○ 1人当たり医療費（年齢調整後） ①・R7年度：全国5位 ・特に入院医療費が全国平均より高い （参考資料P3） ②・新生物による影響（寄与度）が高い （参考資料P4）	③○ 特定健診・特定保健指導の実施率等 ・R7年度実施率 特定健診／福岡：59.0%（40位） （国によるR8年度目標値：65.7%） 特定保健指導／福岡：25.5%（22位） （国によるR8年度目標値：26.8%） ④代謝リスク保有者の割合が高い（参考資料P7） ⑤喫煙者の割合が高い（参考資料P7）	⑥○ 医療保険制度等に関する加入者理解度 <重視したい項目> ・マイナ保険証 ・保険料率（インセンティブ制度等） ・コラボヘルス（健康宣言） ・健診・保健指導 ・上手な医療のかかり方 ・健康づくりサイクル
その他、広報・周知が必要な事項		
ジェネリック医薬品（バイオシミラーを含む）の使用促進、限度額適用認定証の利用促進、正しい柔道整復のかかり方、交通事故等の第三者行為届の提出、業務災害等には健康保険が使えないこと、資格喪失（退職等）後の医療機関受診の防止		



令和9年度 重点課題解決事業にかかる内容の検討（案）

医療費適正化対策	保健事業	広報・意見発信
● バイオシミラーの使用促進に向けた取組 ① 継続	● 被保険者及び被扶養者対象の集団健診（まちなか健診） ③ 拡大 ● 喫煙対策の推進 ②⑤ 継続 ● 福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市等との共同によるメンタルヘルス対策セミナーの開催 ⑥ 継続	● 医療費適正化のための啓発事業「かべ新聞コンクール」 ①④⑤⑥ 継続

3. 医療費適正化対策事業（案）

● バイオシミラーの使用促進にかかる取組（継続）

厚生労働省の定める第4期医療費適正化計画の基本方針において、バイオ後続品（バイオシミラー）の数値目標や、保険者・医療関係者との連携が定められている。協会けんぽでは、第4期医療費適正化基本方針に則り、令和6年度には一部の支部で先行的に、令和7年度にはすべての支部で、バイオシミラー使用促進のためのレセプトデータの分析を行い、医療機関への働きかけを実施した。

バイオシミラーとは

国内で既に新有効成分含有医薬品として承認されたバイオテクノロジー応用医薬品（先行バイオ医薬品）と同等／同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品として、先行バイオ医薬品の特許が切れた後に、異なる製造販売業者により開発される医薬品。

■これまでの福岡支部の取組

年度	取組	予算規模
令和6年度	● 医療機関訪問の実施	－
令和7年度	● 医療機関訪問の実施 ● 医療機関向けセミナーの開催（ハイブリッド方式での開催） ● 患者向け啓発資材の作成	70万円程度
令和8年度	● 医療機関訪問の実施 ● 医療機関向けセミナーの開催（オンライン方式での開催） ● 患者説明用リーフレットの作成	140万円程度

■令和9年度に実施する取組の検討

○令和8年度から引き続き、医師・薬剤師等の医療機関関係者を対象としたセミナーを開催。

○令和8年度の医療機関訪問でのご意見や関係団体等のご意見を踏まえ、実施する取組を検討。

■課題 セミナーの参加人数。（令和7年度：52名（薬剤師20名、メーカー13名、医師1名、その他18名））
（令和8年度：92名（薬剤師55名、メーカー12名、医師1名、その他24名））

4. 支部保健事業（案）

● 被保険者及び被扶養者対象の集団健診（拡大）

被扶養者を対象にショッピングモールや公共施設で実施している協会主催の集団健診（まちなか健診）について、対象を被保険者にも拡大することにより、家族で受診できる機会を創出し、受診率の向上を図る。

■令和8年度

- ・対 象：40歳以上の被扶養者（140,000人）
- ・会場数：73会場（全174日）
県内を6つの地区に分け、地区ごとに委託した健診機関が健診を実施
- ・予算規模：2,400万円程度

■令和9年度

- ・対 象：20歳、25歳、30歳、35歳以上の被保険者及び被扶養者
- ・会場数：被保険者、被扶養者が受診できる会場数、日数を確保予定
県内を6つの地区に分け、地区ごとに委託した健診機関が健診を実施
- ・ショッピングモールや公共施設で実施の特性を活かし、居住地域の案内から
全県下の日程が掲載された案内方法に変更する

■【課題】

- ・令和7年度特定健診受診率※：59.0%（全国40位） ※40歳から74歳の加入者の健診受診率
（内訳）被保険者：66.1%（全国39位）
被扶養者：26.0%（全国42位）



参考 令和7年度まちなか健診DM

4. 支部保健事業（案）

● 喫煙対策の推進（継続）

福岡支部は、喫煙者の割合が全国平均と比べて高い。また、1人当たり医療費（入院）が全国平均と比較して高く、1人当たり医療費（入院）についての新生物による影響（寄与度）が大きく、新生物の中でも「気管、気管支及び肺の悪性腫瘍」の割合が全国平均より高くなっており、喫煙対策の継続が必要である。

■令和6年度の実施「健診結果・レセプトデータ等を分析したリスクスコアを活用した禁煙勧奨通知」

→■令和7年度の実施「令和6年度禁煙勧奨通知の効果検証」

生活習慣病予防健診を受診した35歳以上の喫煙習慣のある被保険者に対し、健診結果及びレセプトデータの分析を行い、喫煙による「脳卒中」「心筋梗塞」「がん」等について個人ごとの疾病発症確率を掲載した禁煙勧奨通知を送付。

通知件数：30,000件（こどもあり・なし） 通知時期：令和7年3月 予算規模：1,500万円程度

実施結果

送付対象者30,000人のうち令和7年の健診受診者は24,761人、うち1,171名（4.7%）が「喫煙なし」と回答。

■令和8年度の実施「禁煙勧奨通知」

健診結果及びレセプトデータの分析は行わずに対象者を決定のうえ通知を送付し、令和6年度の実施結果との比較を行う。また、通知発送時にアンケートを同封し、回答を分析し現状把握を行う。

通知件数：3,000件（こどもあり・なし） 通知時期：令和8年6月 予算規模：20万円程度

■令和9年度の実施 ①「令和6・8年度禁煙勧奨通知の効果検証と比較分析」②「禁煙ポスター作成」

①令和8年度に禁煙勧奨通知を送付した対象者の令和8年度健診結果を集計し、対象者選定にレセプトデータ等を活用した令和6年度勧奨通知との比較検証を実施する。

②現在、希望している事業所に禁煙ポスター（令和6年度作成）を配布しているが、データ等の更新も兼ねてより訴求力の高いポスターを作成する。

■課題 アンケート結果より喫煙を始めた時期として多かった、10代～20代の層への協会からのアプローチ方法。

4. 支部保健事業（案）

● メンタルヘルス対策セミナー（継続）

加入者・事業主の関心度が高いメンタルヘルス対策に関するセミナーを開催する。

（福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市・飯塚市・久留米市との共催）

開催予定回数：県内4回

予算規模：50万円程度

「令和2年度」

○新型コロナウイルス感染症の影響により中止

「令和3～7年度」

○会場開催（県内4会場）に加え、Zoomによる動画配信を実施（6年度は会場開催のみ）

○講演内容

「職場におけるメンタルヘルス対策」など

「令和8年度」

○会場開催（県内4会場）、Zoomによる動画配信

○講演内容

「職場におけるメンタルヘルス対策」など

【会場参加者数】

令和3年度	96名
令和4年度	226名
令和5年度	367名
令和6年度	383名
令和7年度	413名
令和8年度	467名

参考 メンタルヘルスセミナー案内

1 令和8年度メンタルヘルス対策セミナーのご案内

—福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市・久留米市・飯塚市ほか共催—

毎年ご好評をいただいておりますメンタルヘルス対策セミナーを今年も開催いたします。
先着順ですでお申込みはお早め！！

プログラム（予定）

説明（30分）
「行政からのお知らせ・改正労働安全衛生法について」
福岡労働局労働基準部健康課
「改正ハラスメント対策について」
福岡労働局雇用環境・均等部指導課

講演（90分）
「職場におけるメンタルヘルス対策（仮題）」
講師：福岡産業保健総合支援センター

会場・日程

対象地区	開催日時	会場	会場所在地	定員
福岡	7月7日（火） 受付開始 13:00	福岡市健康づくりサポート センターあいれふホール	福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれふ10階	200名
筑後	7月10日（金） プログラム 13:30	久留米医師会館	久留米市榑原町45	150名
北九州	7月30日（木） 16:00 （予定）	J:COM北九州芸術劇場 中劇場	北九州市小倉北区室町 1-1-11	200名
筑豊	8月18日（火）	飯塚市役所本庁舎 多目的ホール1階	飯塚市新立5-5	60名 WEB 300名

申込方法
労働局ホームページよりお申込みください。
▶ <https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/>

申込期間
令和8年6月8日（月）より（先着順）

※締切は各開催日の1週間前までです。
※筑豊地区以外は会場での受領のみとなります。（筑豊地区はWEB配信もあり）
※福岡地区・筑豊地区は駐車場がございません。そのほかの会場の駐車場は入場券に限りがある、又は有料駐車場のみとなっておりますので、公共交通機関のご利用をご検討願います。

参加費無料

スマホから
お申込み
できます

■課題 地域による参加者数の偏り。

5. 広報・意見発信事業（案）

● 医療費適正化のための啓発事業「かべ新聞コンクール」（継続）

将来の健康保険制度を担う次世代層の小学5年生及び中学2年生（福岡県内全域）を対象に、健康や医療費をテーマとした「かべ新聞コンクール」を実施する。

■令和8年度

- 小学5年生は「生活習慣」「タバコ」等を募集テーマとし、学校や家族ぐるみで健康について考えるきっかけ作りとする。
- 中学2年生は、「生活習慣と健康づくり」「医療保険制度」等を募集テーマとし、制度の持続性確保のために必要な取り組み（医療費適正化等）について考えるきっかけ作りとする。
- 教育委員会の後援等をもとに、県内の小・中学校に広く広報し、応募件数の増加等を図ることで、本事業の実効性の向上につなげる。

募集対象者：約90,000人

小学5年生：県内小学校約700校（約45,000人）

中学2年生：県内中学校約350校（約45,000人）

予算規模：1,500万円程度

■令和9年度

第8回健康かべ新聞コンクールを開催予定

■課題 応募者数の増加。

（令和7年度：2,219点、令和6年度：3,514点）

<第7回 健康かべ新聞コンクール 表紙>

<小学5年生>



<中学2年生>



5. 広報・意見発信事業（案）

（参考）こども健康教育の推進

保健事業の実績向上に向けて、健診や特定保健指導のほか、健康づくりに対する理解を促進させることが重要と考え、多くの支部で様々な健康教育に取り組んでいる。特に、学齢期等を対象とした取組は、将来の加入者の健康増進やその医療費の抑制に繋がることから社会的な意義を持っており、SDGsの取組の一つとして考えられる。

■協会けんぽの取組 令和6年度から7年度にかけて健康教育に活用できる教材を作成

こどもへの健康教育を実施する共通資材と、こども自身が自由に記入できる枠や都道府県ごとの健康リスクに応じてカスタマイズできるページを含む追加版教材の2種類を作成。先行して健康教育の取組を進めている支部のノウハウ等を活用し、健康教育実施にかかるナレッジ集も作成している。

■令和8年度 実施状況

令和7年度に学齢期を対象とした健康教育を実施している支部は23支部、令和8年度の支部事業計画において具体的な取組の実施を予定している支部は25支部となっている。

<共通資材イメージ>



<令和7年度の追加データ>

